

社会で生きる、 自分を生きる

「日本の子どもたちに、幸せに、しなやかに、社会で生きていてほしい!」
私たちが子ども向けカリキュラムの開発を始めたところからの想いです。

自分の人生や社会と前向きに関わり、挑戦していく力を、広い意味での“アントレプレナーシップ”と呼びます。

学童期にさまざまな「体験」をすることが、この力の習得につながるのですが、
家庭の経済状況や情報格差、意識格差によって体験機会に格差があるのが現状です。

私たちは、日本においてもっとも広く子どもたちにアプローチできる場所として公教育を選び、
そこでこのカリキュラムを展開することで、アントレプレナーシップの習得のきっかけを提供したいと考えています。

しくみ～な®の特徴

公教育との連動

公立校の「総合的な学習の時間」への導入を目指し、
教育委員会・教員と対話しながら開発中

“仕組み”を学ぶ

社内外との交わりやヒト・モノ・カネ・情報の動きを
伴うタスクを通じ、社会 / 経済 / 仕事の“仕組み”を
主体的・対話的に学ぶカリキュラム

みんなで支える

自治体や学校、地域に縁のある企業、財団、市民な
どがみんなで支えるカリキュラム

目指す社会

企業等

教育への資源配分を今以上に「投資」と捉え、長期目
線で資源を投入している

資金・専門知識・人材など
の民間リソース

地域

民間資源の教育への分配が、
育まれた人材を通じて地域の
維持・成長につながる状態

公立学校 教育委員会

公民連携の意味を体感し、
地域と積極的に関わっている

次世代

自分の人生や社会と
前向きに関わる、
“アントレプレナーシップ”
を身に着けている

国・自治体

調達時の優遇など、公的枠組
みを通じて、教育における公民
連携の後押しをしている

“みんなで支える”の具現化(構想中)

